

# 水 泥 新 聞



第 12 号

行 社 F C 水 泥 編 集 室  
発 行 電 話 (052) 733-0325

## 《浄化槽PFI事業で「地域創生」》

### 徳島県三好市の独自システム によるPFI事業の取り組み

汚水処理整備計画の見直しが進む中、経営上のノウハウや技術力などを活用することで公共施設などの整備を促進しようというPFI事業が改めて注目を集めている。

徳島県三好市では、平成27年4月から市全域を対象とした「浄化槽市町村整備推進事業（以下「市町村型」）を、PFI方式でスタートさせた。事業主体となつては株式会社三好浄化槽ネットワークでは、独自の手法で浄化槽の普及に努めている。キーワードは「地域創生」だ。

平家の落人伝説が残る  
美しい三好市

四国のほぼ中央に位置する三好市には、四国第二の高峰・剣山や大歩危・小歩危、平家の落人伝説が残る「かずら橋」で有名な祖谷川など、いまも秘境の雰囲気を残す自然を誇る。また市の中央部には日本三大暴れ

川の一つで、四国三郎の異名を持つ吉野川が流れる。急峻な山肌が集落に迫る地形のため、下水道の整備は容易に進めにくい。しかも地方財政が逼迫し、少子高齢化も進む。一方で美しい自然を守り残すため、生活排水処理対策が必要だ。三好市は、平成18年3月に三野町、池田町、山城町、

井川町、西祖谷山村、東祖谷山村が合併、誕生した。三好市のうち、旧井川町、旧山城町はPFI方式によって「市町村型」を平成17年から実施し、平成26年に第1期事業を終了したが、平成27年からはこの事業を三好市全域で取り組むことになった。狙いはよりの質の高い澄んだ吉野川の復活である。



▲吉野川・池田ダム湖に架かる池田へそつ湖大橋

三好市PFI事業は  
実施方針の決定から、  
わずか5カ月で契約

「市町村型」のPFI方式は、民間のノウハウや技

術力などを活用した公共サービスともいわれており、効率的な事業の推進を図ることができる。申請者から浄化槽設置工事の一部を工事分担金として納めてもらい、合併浄化槽を

設置。浄化槽は市が所有することとなり、使用者から使用料を徴収し、市が維持管理（点検・清掃・法定検査）等の費用を賄う公営企業方式である。これにより、浄化槽の設置や維持管理を市の財政負担の軽減を図りながら効率的に実施することができる。

さらに、三好市の取り組みだPFI方式はそのスピード感に特色がみられる。

PFI事業は事前協議・設計・発注・施工管理・検査・維持管理など多くの業務が発生する。三好市では、市議会で汚水処理整備計画をPFI事業で市域全体に拡大し、浄化槽を推進してはどうかという質疑が平成25年にあった。それをきっかけに地元の浄化槽関連企業が中心となりPFI事業

についての勉強会を立ち上げ、1年間かけてリット、デメリットについても分析し、どうすれば事業を成功させることができるかを研究した。

その後、三好市がコンサルタント会社に対しPFI事業の検討（導入可能性調査）を発注し、平成26年10月に実施方針が決定。勉強会の実施によって事業についての理解が進んでいたことで、それからわずか5カ月後には市内の16社を構成企業とする（株）三好浄化槽ネットワーク（以下、ネットワーク）との契約が交わされた。その後も、ネットワークへの参加を希望する企業が増え、現在は16社の構成企業と12社の協力企業で事業を運営している。

単独浄化槽から合併浄化槽  
への転換に対する意気込み

三好市におけるプロジェクトの特徴として、市が整備可能と想定した浄化槽を上回り整備された時は、上回っ

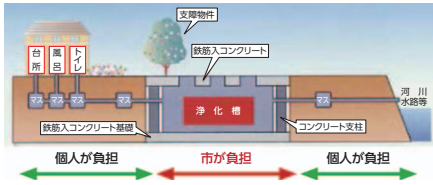
〈別表1 工事分担金・月額使用料(税込)〉

人槽区分	工事分担金	月額使用料
5人槽	102,000円	3,780円
7人槽	113,400円	4,320円
10人槽	138,000円	5,080円
11人槽以上	お問い合わせください	

※工事分担金は浄化槽設置工事時の1回のみです。  
 ※月額使用料は、PFⅠ方式のため(株)三好浄化槽ネットワークが  
 集金業務、口座振替などの手続きを市に代わって行います。

〈別表2 転換補助金制度〉

区分	5人槽	6~7人槽	8~10人槽
単独処理浄化槽	60,000円	70,000円	80,000円
汲取り槽	大きさに関係なく32,000円		



た分の買い取り価格を上乗せするインセンティブが設定されている。さらに、整備された浄化槽の内の単独転換の比率についても目標値が定められている。個人負担の軽減にも配慮され、浄化槽本体工事やブロワ設置、空気が配管、維持管理費などは市が負担し、更に転換補助金制度が設けられ、くみ取り式からの転換には一律3万2000円、単独浄化槽からの転換には5人槽で6万円の補助金が用意されている。(別表1・2)

事業を成功に導く 独自システム  
 PFⅠ事業は施工や維持管理のやり方、営業面でのトラブルなどといった難しさもある。そこでネットワークに所属する企業は「資材部」「施工部」「維持管理部」の3つの内、いずれかのグループに所属し、兼務はできないようになっていいる。こうすることで十分な相互チェック機能が働き、万が一供用後にトラブルが発生した場合にも、原因をはっきり

事業を成功に導く 独自システム

と検証する仕組みを整えた。  
 ネットワーク代表を

務める田原氏は「私達の目標は『地域創生』です。この事業が終了する16年後、浄化槽がきちんと維持管理され、美しいふるさとの水が守られていることをビジョンに掲げ、メンバーで共有するようにしています」と熱っぽく語る。  
 PFⅠ手法を用いることで、市民が地域に誇りを持って暮らせる街にしようという目標を立て、ネットワークメンバーが一丸となってこの事業に取り組むことが町の活性化につながるかと考えている。  
 さらにネットワークのメンバーも、これらの町のあり方を真剣に考え取り組んでいくため、環境問題により敏感な意識を持つ若世代を中心に構成して

全国に広がる PFⅠ事業

ネットワークが三好市と交した事業契約の中には単独浄化槽から合併浄化槽への転換のため、市民に対する広報・啓発活動も積極的に行っている。そこでネットワークは市民が行うイベントなどにも出展したり、地元のケーブルテレビでCMを流している。また、単独転換の施工中はのほりを立てて近隣住民にPRを行っている。さらに、平成27年10月には南海トラフ地震を想定し三好市との間で防災協定も結んだ。協定書には、災害発生時、水道施設や浄化槽の被害状況を市に報告することや復旧工事への対応、避難所に仮設トイレを設置することが記されている。こうした活動をjえて市民の中へネットワークが信頼を

もって受け入れられ、単独転換に理解を示す市民も増えている。  
 浄化槽PFⅠ事業は、平成26年度には全国15市町村に及んでいる。フジクリーンの営業担当者は「当社が独自に行っている聞き取りでは、平成26年1月に『都道府県構想策定マニュアル』が発表されて以来、新たに『市町村型』を検討している自治体が増えています。その多くがPFⅠ事業の導入を視野にいられています」と語っている。今後、三好市でのネットワークはPFⅠ事業の新しい取り組みのモデルケースの一つとして注目されそうだ。



**比べてみれば CA型** 5・7・10人槽 接触床方式

- 施工性**
  - 超コンパクトで、横幅970mm、全高1,520mm。(5・7人槽)
  - 流入管底:260mm、放流管底290mmのレイアウトフリー
  - ブロワは配管1系統、タイマなし、アースレス
- 維持管理性**
  - 散気管とオフィス部分にフタタッチユニオン採用
  - パイプリーダー洗浄が可能な散気管形状
  - 点検開口からの視認性向上
- 環境性**
  - 安定した処理性能の接触床方式
  - 窒素除去機能(T-N 20mg/L以下)
- 省工ネルギー**
  - 消費電力5人槽39W
  - 浄化槽の製造から運転まで低炭素社会に貢献

**2015年3月 新発売**

放流水質

BOD 20mg/L以下  
 S S 15mg/L以下  
 T-N 20mg/L以下  
 COD 30mg/L以下

(一部)日本環境センターによる性能評価

流入水質: BOD200mg/L, SS160mg/L, T-N45mg/L, COD100mg/L

CE型を超え、CFⅡ型を超えて、  
 新たな浄化槽の歴史を創る

**浄化槽シェア No.1**

**フジクリーン工業株式会社**

本社 / 名古屋市中区今池四丁目1番4号 千464-8613 ☎(052)733-0325  
 支店 / 札幌・東北・東京・名古屋・大阪・福岡 営業所 / 全国24ヶ所  
<http://www.fujiclean.co.jp/>